

昭和大学新聞

学校法人 昭和大学
発行人 小口勝司
電話 (3784) 8000 〒142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部 50円 毎月1回発行

10月号の内容

- 1面
 - ・大腸内視鏡検査支援システムを開発
 - ・AIを用いた胎児心臓超音波スクリーニング
 - ・アジア太平洋薬学生シンポジウム開催
- 2面
 - ・夏季スポーツ大会報告会
 - ・夏季スポーツ大会優勝クラブのコメント
 - ・半月板再生用材料及び半月板再生用材料の作製方法に関する特許を取得
 - ・木村登賞と最優秀演題賞を受賞
 - ・神奈川県病院協会野球大会2部優勝
- 3面
 - ・平成30年度 科学研究費助成事業採択課題一覧(薬学部他)
 - ・新年号掲載写真集のお知らせ
- 4面
 - ・女子アイスホッケークラブ創部記念祝賀会
 - ・旗の台1丁目町の祭りに参加
 - ・学生会総会開催のお知らせ
 - ・創立90周年記念式典のお知らせ
 - ・昭和大学サポート寄付制度 上條記念館座席プレート申込み状況

【問合せ先】

【本紙について：総務課出版・フォト係】
03-3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp
【各種募金・寄付・90周年事業について：企画課】
03-3784-8387
【学事について：学務課、大学院・卒後教育課、入学支援課】
03-3784-8022(旗の台)
0555-22-4403(富士吉田)
045-985-6503(横浜)
03-3784-8026(入学支援課)

AIが身体の異常を検知して医師に報告 産学連携で画像診断支援AIを共同開発

内視鏡検査支援システムを開発 大腸ポリープ・癌をAIが検知

工藤進英センター長(昭和大学横浜市北部病院消化器センター)は、森健策教授(名古屋大学大学院情報学研究所)およびサイバネツトシステム株式会社と共同で、人工知能(AI)による大腸内視鏡検査支援システムを開発した。

同システムはディープラーニング(深層学習)により約280万フレームの学習用画像を学習しており、ポリープ・癌をリアルタイムで検知し、医師による病変の発見をアシストすることが可能で、これにより微小癌

や前癌病変を見落とすリスクを低減し、大腸癌による死亡を抑制することが期待される。

臨床研究では791人の患者を対象に診療現場での精度評価を行い、93・7%の精度で微小大腸ポリープを診断した。

このようなAIは診療に影響を与える可能性があり、薬機法承認の取得が必要であると考えられている。このうち「病理診断予測システム」は2018年6月に薬事申請済、「病変検出システム」は2019年度で



三澤将史講師 工藤進英センター長 森悠一講師

心臓超音波スクリーニングシステムを開発 胎児の先天性心疾患をAIで検知

9月18日、松岡隆准教授(昭和大学病院産婦人科)は、人工知能(AI)を用いた胎児心臓超音波スクリーニングシステムの開発について、理化学研究所東京連絡事務所(CORED)日本橋で、理化学研究所ならびに富士通株式会社と共同記者発表を行った。

同システムはAIを用いて胎児の心臓異常をリアルタイムに自動検知するもので、胎児の診断を支援する

とともに、早急に治療が必要な重症かつ複雑な先天性心疾患の見落としを防ぎ、早期診断や綿密な治療計画の立案につながる期待される。また、検査者間の技術格差や地域間の医療格差を埋めることで、周産期・新生児医療の発展に貢献すると考えられる。

通常、超音波検査画像のAI研究はX線やCT等と違い、手動で超音波検査を行うため検査者間の差が大



記者発表する松岡隆准教授

きくノイズ(陰影)が入りやすいため難しいとされてきた。同システムでは正常胎児の心臓の構造や位置には個人差が少ない特徴を利用し、診断精度の高い正常胎児心臓の超音波検査画像2,000枚をAIに学習させ、正常データのパターンから逸脱したデータを異常とみなす方法を用いたことが特徴の一つである。

現時点では95・7%の確率で先天性心疾患を検出する

ることに成功しており、今後はさらにデータの拡充を進めるため、日本の大学病院ではトップレベルの年間出産数を誇る昭和大学の各附属病院のデータを利用していく。

第17回アジア太平洋薬学生シンポジウム 富士吉田キャンパスにて開催

第17回アジア太平洋薬学生シンポジウム(APPS)が、8月18日から24日までの7日間、富士吉田キャンパスで開催され、世界各国から約450人(国内約90人・海外約360人)が参加した。

同シンポジウムはアジア太平洋地域の薬学生が集まり、学術的・文化的な交流を深め、知識や経験を共有することで、アジア地域の医療水準の向上に貢献することを目的として、年1回参加国の中から会場が選ばれ行われるもの。一般社団法人日本薬学生連盟が主催し、本学からも参加者総括などの

役員2人を合わせて17人の学生が参加した。参加者たちは、富士吉田キャンパス内の各寮に宿泊し、豊かな自然を満喫しながら、高くそびえる富士山を背景に記念写真を撮る姿も見られた。

初日はウェルカムパーティーが開催され参加者同士の交流を深め、翌19日のオープニングセレモニーでは、本学の中村明弘薬学部部長とゲストの堀内茂富士吉田市長からともに英語で各国からの参加者を歓迎するあいさつがあった。

また、講演とワークショップも行われ、本学の佐々木忠徳統括薬剤部長が「Current situation of pharmacist education in Japan」、エジプトから本学の病院薬理学講座に留学中のライラネイビル アブラアタさんが「Pharmacy practice in Japan&Egypt」という演題で、日本やエジプトを本学における薬剤師教育の現状について講演した。ワークショップではいくつかのグループにわかれて薬学領域のこと、卸のシステムのこと、災害医療のことなど、多種多様なテーマに触れて感想や意見を述べ合っていた。

20日以降も講演やワークショップ、さらに医療施設



会場の富士吉田スクエアガーデン



会場の様子

APPSに参加して

昭和大学 薬学部5年 安田 英里香

私は参加者統括の責任者としてこの企画に携わらせていただきました。参加者の登録受付、シンポジウム中の参加者の生活環境の整備、質問対応等が自分の部署の主な役割でした。

シンポジウムの最後に

本企画のテーマ、「This is a start」に関連し今後の医療・薬学・自分の将来について友達と共有しようというワークがありました。そこで様々な海外の医療、薬学部事情を知り、また海外の薬学生



健康応援オーケストラ 株式会社 メディセオ

東京本社/〒104-8464 東京都中央区八重洲二丁目7番15号 TEL/03 (3517) 5050 (代)

URL/http://www.mediceo.co.jp

の薬学に対しての思いも知ることができました。国は違えど同じ薬学を学んでいるからこそ共感できる部分が多く、また自分の国をこういう風に変えていきたいという同年代の熱い思いを直接聞くことができ、非常に大きな刺激になりました。国を超えて友人ができただけでなく将来について再度考えさせられる貴重な機会になりました。

最後になりましたが、本企画を支えてくださった中村薬学部部長を始め、先生方、富士吉田校舎の方々、また施設見学にもご協力くださった病院の方々にこの場をお借りし心より感謝申し上げます。

医学部の木庭准教授と横田助教が受賞 日本心臓リハビリテーション学会学術集会

医学部の木庭准教授(内科学講座循環器内科学部)が、7月14、15日に開催された第24回日本心臓リハビリテーション学会学術集会(パシフィコ横浜)で、第15回木村登賞を受賞した。日本心臓リハビリテーション学会は、1995年に発足し、現在会員数14000人を超える循環器疾患関連では日本循環器学会に次ぐ大規模の学会。その中で、「木村登賞」は、1956年(昭和31年)に当時としては世界的にも画期的な心筋梗塞に対する積極的運動療法を提唱した木村登先生の先進的業績を記念して2004年に創設され、日本の心臓リハビリテーション分野において学術研究成果、教育的、社会的貢献が顕著であった今後この分野で中心的な役割を果たすことが期待される人物1名に対して授与される賞で、日本の心臓リハビリテーション分野で最も栄誉ある表彰と

言われている。また、医学部の横田裕哉助教(内科学講座循環器内科学部)が、演題名「心臓リハビリテーションによる小粒子高密度LDLコレステロールの低下は長期冠動脈イベント抑制に有効である」とによる講演で、同学会の一般演題772演題の中の最優秀演題4演題に採択された。木庭准教授のコメント 名誉ある賞を受賞でき、ご指導ご支援いただきました皆さまに感謝ならびに厚く御礼申し上げます。今回の受賞を励みに、心りハのエビデンスの構築とその普及に努めます。また、昭和大学の心りハチームの発展に努めます。また今回同学会の副理事長の大役を拝命いたしました。副理事長として同学会の会員皆さまのために貢献したいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



木庭新治准教授



横田裕哉助教

東医体・全歯体 優勝クラブのコメント

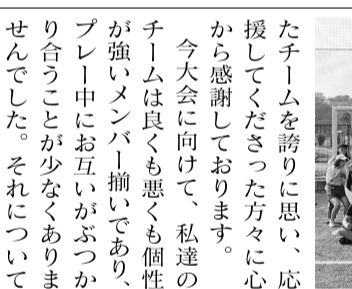
医学部卓球部 拓哉さん (医学部4年) 昨年の東医体は団体ベスト8止まりで部員全員が悔しい気持ちで一杯でした。そのため今年のチーム目標を「東医体優勝」とし、技術力やメンタル面の強化を中心に練習してまいりました。今年は予選リーグから順調に勝ち上がり、決勝戦に駒を進めました。決勝戦の相手は4連覇を狙う強豪東北大で、一進一退の展開となりましたが、チーム全員による応援で盛り上げ、大

接戦の末、25年ぶりに優勝することができました。また、個人戦においてもダブルスで準優勝することができました。遠路駆けつけて下さったOBの先生方や父兄の皆さまには大変お世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。来年の東医体でも優勝を目指し、日々練習に取り組んでまいります。



獲得したトロフィーなど

陸上競技部 宮本 聖さん (歯学部4年) 今年の全歯体では3種目に出場し、400m、400mHで優勝(400mHで大会新)、800mで準優勝することができ、嬉しく思います。この大会ではなんと総合優勝しようと思先から全員で練習に励んできました。今年はマネージャー、他部活の陸上経験者にも出場してもらい、全員で競技得点を稼ぐ作戦で挑みました。その甲斐もあり全員が結果を残すことができ、総合順位も去年より1つ上げ総合準優勝することができました。来年の全歯体ではこれ以上で部員を増やし、今度こそ総合優勝を勝ち取りたいです。また、個人としては来年の春に行われる関東インカレに400mHで出場し決勝の舞台まで駒を進めるように日々の練習を頑張ります。



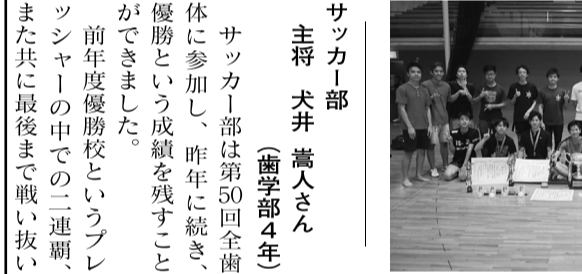
獲得したトロフィーなど

半月板再生用材料に関する特許を取得

学校法人昭和大学は、このたび「半月板再生用材料及び半月板再生用材料の作製方法」の特許を取得した。これは稲垣克記教授、上條竜太郎教授、嶋根俊和教授、代田達夫教授、須澤徹夫講師、糸瀬昌克助教のグループが発明し出願されたもの。ラットの脂肪組織から採取した脂肪組織由来再生細胞をアテロコラーゲンスポンジに混入し、半月板を部

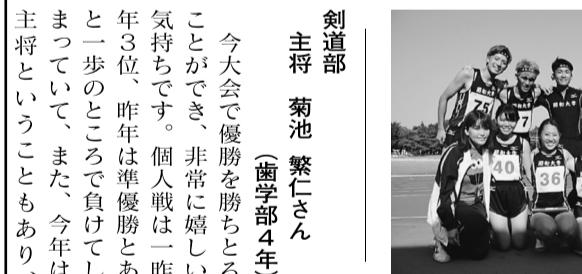
分切除した箇所に移植したところ、スポンジ単体に比べて線維軟骨様の組織修復が進み、II型コラーゲンの発現が観察され、今回はこの半月板再生用材料とその製造方法に関して新規性・進歩性が認められ、特許を取得した。

- ◆特許の概要 (特許番号) 日本 第6338259号 (発明の名称) 半月板再生用材料及び半月板再生用材料の作製方法
- 【発明人】 稲垣 克記 教授 医学部 整形外科講座 上條竜太郎 教授 歯学部 口腔生化学講座 嶋根 俊和 教授 歯学部 口腔外科学講座 代田 達夫 教授 歯学部 口腔外科学講座 須澤 徹夫 講師 歯学部 口腔生化学講座



特許取得記者会見の様子

サッカー部 犬井 嵩人さん (歯学部4年) サッカー部は第50回全歯体に参加し、昨年に続き、優勝という成績を残すことができました。前年度優勝校というプレッシャーの中で二連覇、また共に最後まで戦い抜い



優勝した選手たち

剣道部 菊池 繁仁さん (歯学部4年) 今大会で優勝を勝ちとることができ、非常に嬉しい気持ちです。個人戦は一昨年3位、昨年は準優勝とあと一歩のところまで負けてしまっていて、また、今年は主将ということもあり、



優勝した選手たち

医学堂書店

品川区 旗の台 3
電話(03) 3783-9774

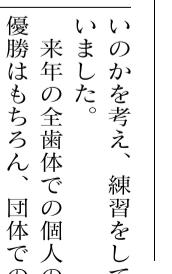
昭和大学職員野球部が優勝 神奈川県病院協会 野球大会二部

8月19日、昭和大学職員野球部が神奈川県病院協会野球大会二部決勝戦において8-1で勝利し優勝した。本大会は一部が16チーム、二部が15チームのトーナメント方式で行われ、二部優勝を果たした昭和大学職員野球部は一部に昇格する。また、個人賞でも最高殊勲選手賞、優秀選手賞、打撃賞を獲得する活躍を見せた。



優勝した選手たち

「絶対に優勝をする」という気持ちで臨みました。日頃から熱心に指導、支援していただいている先生や応援してくださった方々に優勝という形で恩返しができる良かったです。優勝を目指して自分が大会に向けて重点的に行った練習は「切り返し」という、剣道の練習の中では基本的な練習です。基本的な練習を徹底的に行うことで、正しい構えの徹底、振りのスピード、足さばきなど、全体的なレベルアップを目的として行いました。また、試合で相手に主導権を握らせないよう、相手の「先を抑えることを徹底して意識しました。相手の「虚」を作り、打つにはどうすればいい



優勝した選手たち

平成30年科学研究費助成事業採択課題一覧 (薬学部・保健医療学部・富士吉田教育部・研究所・法人)

研究種目	所属	職名	研究者名	内定額(円)	研究課題名	研究種目	所属	職名	研究者名	内定額(円)	研究課題名
基盤研究(B)	生体分析化学	教授	加藤 大	7,500,000	ナノ粒子を用いた細胞内反応の詳細な解析と生命活動の制御原理の理解	基盤研究(C)	富士吉田教育部	准教授	山本 雅人	600,000	赤外分光法による口腔環境のその場化学分析の試み
		准教授	田中 信忠	1,600,000	糖非発酵性細菌のペプチダーゼ類を標的とした新規抗菌剤開発			講師	樋口 雄介	700,000	グラフのスペクトル幾何と古典および量子酔歩の挙動の相関の解明
	衛生薬学	教授	原 俊太郎	4,000,000	トキシコリピドミクスを基盤とした環境化学物質の新たな毒性軽減因子の探索		臨床腫瘍診断学	教授	和田 聡	1,820,000	膀胱がん微小環境に長期生存するがん間質幹細胞を標的とした新規治療法の開発
	臨床薬理研究所	教授	吉村 清	1,400,000	分子Xを標的としたCAR-T免疫療法の開発		臨床薬理研究所	教授	角田 卓也	1,100,000	食道癌および胃癌の腸内細菌叢から解析した患者免疫能における探索的基礎研究
	スポーツ運動科学研究所	准教授	磯 良崇	2,500,000	心臓リハビリテーションによる骨髄老化への有効性の検証		発達障害医療研究所	准教授	中村 元昭	1,200,000	ヒト前頭前野の可塑的变化に基づく脳刺激の最適化と個別化
	薬品製造化学	教授	福原 深	1,400,000	カテキン三量体を創薬シードとした新規アルツハイマー病治療薬の開発		腫瘍分子生物学研究所	准教授	山岡 利光	900,000	慢性閉塞性肺疾患(COPD)合併肺癌における発癌メカニズムの解明
		准教授	太田 公規	1,100,000	ホウ素化合物ライブラリーを基盤としたミドルアップダウン型創薬研究			講師	大場 基	1,300,000	PKCetaを分子標的とした新規肺癌治療戦略
	生物化学	准教授	小濱 孝士	1,000,000	酸化変性リボタンパク質の炎症惹起性と好中球細胞外トラップ形成との相互関連		上條記念ミュージアム準備室	特任教授	小口江美子	700,000	地域医療福祉連携における音楽運動療法視聴覚教材を活用した教育指導法の開発と評価
		助教	加藤 里奈	1,000,000	平滑筋細胞に起因する新たな動脈硬化進展メカニズムの解析とその抑制方法の構築		看護学科	教授	下司 映一	500,000	女子アスリートのためのスポーツNSSTによる栄養及び健康管理に関する研究
	腫瘍細胞生物学	助教	石川 文博	1,400,000	転写制御因子SUZ12によるレドックス制御を介した足場非依存性増殖機構の解析		生体分析化学	講師	村山 周平	1,400,000	「痛みを診る」低リスク神経診断プローブの開発
毒物学	教授	沼澤 聡	1,400,000	無機ポリリン酸の敗血症治療への応用に向けた基盤構築	地域医療薬学	教授	倉田なおみ	1,500,000	安全で確実な経管投薬を実施するための「簡易懸濁法ガイドライン」の策定		
	講師	芦野 隆	1,100,000	動脈硬化の進展抑制を指向した活性酸素の産生/消去スイッチング機構の解明	生体分析化学	講師	唐沢 浩二	1,000,000	定温増幅法および化学発光法を用いたPOCT技術によるmiRNA分析への挑戦		
薬理学	教授	野部 浩司	300,000	糖尿病におけるインスリン治療が引き起こす高血圧症の原因解明と回避方法に関する研究	病院薬剤学(薬局)	講師	細田 修一	100,000	経口摂取不可能なせん妄・抑うつ患者に対するミアンセリン坐剤の開発		
生理病理学	准教授	谷岡 利裕	1,100,000	2型糖尿病β細胞機能不全における脱ニトロ化酵素の役割解明と新たな治療薬の探索	遺伝子組換え実験室	助教	渡邊 潤	1,400,000	頭部外傷における間葉系幹細胞と神経ペプチドの神経新生促進作用		
社会薬学	准教授	岸本 桂子	1,200,000	薬物治療の効率・安全性向上に寄与する薬局における患者の情報伝達促進の方策の確立	発達障害医療研究所	講師	板橋 貴史	600,000	自閉スペクトラム症における認知的柔軟性欠如の神経メカニズムの解明		
医薬品評価薬学	准教授	亀井 大輔	1,200,000	末梢性顔面神経麻痺の難治化におけるプロスタグランジン類の役割の解明	講師	藤野 純也	1,100,000	社会的意思決定の特徴から検討するASDとADHDの鑑別と併存			
看護学科	教授	富田真佐子	800,000	ポートフォリオ・アプリを用いた炎症性腸疾患患者セルフケア看護支援プログラム	助教	渡邊友里江(小田友里江)	900,000	PgDPP11を標的とした歯周病治療薬開発のためのin silico創薬			
	准教授	大木 友美	700,000	クリティカルケア看護師のEnd of Life Careとレジリエンスの日常研究	助教	早川 大地	2,600,000	量子化学計算とプローブ分子を用いた分子相互作用場の算出と構造活性相関への応用研究			
	教授	田中 晶子	600,000	急性期意識障害患者の脳が「賦活化する」「さする」刺激の効果	薬理学	助教	柴田 佳太	800,000	酢酸誘発脳梗塞モデルマウスを用いた新規治療薬の探索および作用メカニズムの解明		
	准教授	入江 慎治	700,000	退院直後における外来看護の新たな展開を目指した入院時~退院6か月後までの追跡調査	薬物動態学	准教授	杉山恵理花	500,000	個別化医療を目指したI3C-リードコイン呼吸試験による薬物代謝能評価系の検討		
	講師	村田加奈子	1,600,000	終末期における訪問看護プロセスの可視化-疾患・年齢・家族形態別の特徴	医薬品評価薬学	助教	村瀬 礼美	1,000,000	細胞外リン脂質代謝酵素による腸内細菌叢整備を介した疾患制御機構の解明		
看護学科(GCU)	講師	井出 由美	1,000,000	NICUの新人看護師を対象とした教育支援プログラムの開発	病院薬剤学	助教	米澤 龍	2,400,000	自己調節鎮痛法を用いた術後疼痛管理の予後因子の探索研究		
看護学科(精神神経外来)	講師	福宮 智子	500,000	看護師の倫理的行動を促進する教育・支援プログラム開発のアクションリサーチ	看護学科	准教授	鈴木 浩子	800,000	乳幼児を育てる母親の「地域の支援につながる力」に影響する要因		
理学療法学科	教授	佐藤 満	1,800,000	治療的運動介入による感覚機能改善効果の定量化に関する研究	基礎看護学	講師	小玉 淑巨	900,000	トップマネージャーの変革型リーダーシップ獲得に影響した省察的内省のメカニズム解明		
臨床病理診断科学	教授	福地 邦彦	700,000	院内感染対策を目的とする薬剤耐性菌の抗菌薬耐性機構の解析	助産学	講師	中山 香映	1,900,000	出生直後の母乳育児支援方法と母乳率の関連		
富士吉田教育部	教授	金丸みつ子	700,000	オプトジェネティクスを用いたCO2による覚醒調節機構の解明	発達障害医療研究所	講師	青木 悠太	1,700,000	社会性の障害の分子・神経・感覚要因を一元的に解明: ASDとADHDの超診断的評価		
	准教授	小倉 浩	500,000	自己相関関数に基づく文書主題と文書構造を考慮した文書検索手法の開発	※申請時の所属・研究者名を掲載しています。						

歯学部 追加採択分

研究種目	所属	職名	研究者名	内定額(円)	研究課題名
研究活動スタート支援	口腔病態診断科学講座口腔病理学部門(歯科病院・臨床病理診断科)	助教	鯨岡 聡子	1,200,000	唾液腺オルガノイドを用いた唾液腺腫瘍関連遺伝子の機能の解明
	スペシャルニーズ口腔医学講座顎関節症治療科学部門	助教	藤本 規仁	1,200,000	睡眠時ブラキシズムのデータベース構築および疾患構造の解明
	小児成育歯科学講座	助教	井澤 基樹	1,200,000	成長期における骨吸収抑制薬の作用機序の解明
	全身管理歯科学講座歯科麻酔科学部門(横浜市北部病院・歯科麻酔科)	助教	越智 英行	1,200,000	吸入麻酔関連プレコンディショニングによる血管内皮グリコカリックス層保護効果の解明

新年号掲載写真募集のお知らせ

新年号の一面を飾る写真を募集します

[条件]

- ◇風景写真(人物・絵画はNG) ◇横置き
- ◇デジタル画像(jpeg形式・カラー) ◇自作未発表のもの

[応募方法]

- 応募写真はEメールに添付したデータのみ受け付けます。
- ◇氏名(ふりがな)、大学との関係(学生・職員・卒業生など)、撮影場所を明記。
- ※氏名、撮影場所を掲載しますのでご了承ください
- ◇締め切り 平成30年12月4日(火)
- ◇送り先 昭和大学総務部総務課 出版・フォト係
E-mail: press@ofc.showa-u.ac.jp

as human, for human
PARAMOUNT BED



最先端の技術で医療の明日に貢献します。

パラマウントベッド <http://www.paramount.co.jp> フリーダイヤル 0120-03-3648



昭和大学女子アイスホッケー クラブチーム創部祝賀会を開催

9月14日、昭和大学女子アイスホッケーのクラブチーム「ブルーウィンズ」が創部され、新横浜プリンスホテルで祝賀会が開催された。同クラブは、活動を通して多くの人々に感動と喜びを届けることで、アスリート支援の必要性ならびにスポーツの振興に貢献することを目的として創部され、選手15人で構成されている。祝賀会には発起人として各アイスホッケー連盟の方々や関係企業ならびに本学関係者など多数の方々が出席した。他に本学のアスリート職員や昭和大学アイスホッケー部のOBなどが出席し、祝賀会は大いに盛り上がりを見せた。

ブルーウィンズの佐久間勇監督は挨拶の中で「皆さまにご協賛いただいたことで、こういうチームができるということは選手にとつて素晴らしいことだと思っております。それぞれの選手が個性を活かして助け合いながら全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)で優勝することを目指してスタッフ一同努力していきますので、今後ともご協力をお願いいたします」と述べた。

クラブは今後の予定として、第29回横浜市長杯兼第23回全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)（神奈川県予選会）に出場して10月13日にその初戦を向かえる。同大会を勝

ち抜き全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)への出場を目指して、練習に励んでいく。

なお、創部と同時に「昭和大学女子アイスホッケークラブブルーウィンズ応援団」を設立しており、入会希望を大学にて受け付けている。

旗の台一丁目町会の祭禮に参加

9月8日・9日の両日、旗の台一丁目町会の祭禮が開催され、本学から小口勝司理事長、小出良平学長、板橋家頭夫昭和大学病院院長、その他多くの学生や職員が参加した。

この祭禮は、荏原町駅近くにある旗台八幡神社で毎年9月の第2土曜・日曜に行われる例大祭に合わせて行われるもので、神社周辺の町会で一斉に神輿を担ぎ地域の安全を祈願している。



2018年昭和大学は創立90周年を迎えました

記念式典・祝賀会を来年(2019年)に挙行!

開催日：2019年11月10日(日)

◎記念式典

会場：昭和大学上條記念館

記念講演や上條記念館の披露会を予定

◎記念祝賀会

会場：グランドプリンスホテル新高輪 飛天

昭和大学上條メモリアル合唱団による
ベートーヴェン交響曲第9番(第九)の合唱を実施

創立90周年記念事業(上條記念館建設事業)募金へご協力いただいた方は式典・祝賀会に招待いたします。
続報は随時!

昭和大学 公認サークル紹介

書道部サークル

☆サークルの詳細

- ・所属人数 28人(男 10人・女 18人)
- ・活動日 第3土曜日、不定期に展覧会用の作品作成のための練習あります
- ・代表者名 佐藤美津恵



☆どんなことをするサークルですか?

私たち書道部は、藤が丘病院が開院当時から続いているサークルです。世代を超えて長いおつきあいをしています。墨光会に所属し、毎月第3土曜日に定例練習会を開催しています。展覧会前になると集中的に練習を行っています。昨年はできませんでした。一昨年は院内展を開催しました。「ただ作品はちょっと…」という方も「ただ書きたい」という方も参加しています。

☆サークル活動中で一番楽しみなことは何ですか?

部署が違ったスタッフの参加や退職された方の参加もあり、月に1回の練習日は、お互いの話や展覧会の情報交換などいろいろな話題で盛り上がり。また、節目で親睦会での交流も楽しみです。昇級試験、展覧会のための作品づくりは、苦勞の末、出来上がったものばかりで嬉しさも一入です。院内展では、患者様からの問い合わせも多く私たちの成果が癒しの空間を提供していることは喜びでもあります。



昭和大学では179もの種々様々な公認サークルがあり、皆さんが気に入るサークルもきっとあります。昭和大学職員相互の親睦を深めるためにも皆さんのサークル参加をお待ちしています。また、新規サークルの創設も受付していますので応募をお待ちしています。公認サークルに関するお問い合わせは、人事部給与厚生課 (03-3784-8015) まで。

昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方々 (平成30年8月1日～8月31日お申し込み分)

- 教育研究への寄付
 [父 母] 渡辺 正貴様 / 琴梅 早永歌様 / 琴梅 正人様
- 医学部への寄付
 [同 窓] 医療法人高仁会 理事長 高橋 太郎様
- 各クラブ・学生会への寄付
 [職 員] 成島 道昭様
- 創立90周年記念事業への寄付(上條記念館建設)
 目標寄付金額：10億円
 累計寄付金額：566,377,853円(平成30年8月31日現在)
 ※上條記念館建設事業へ累計100万円以上のご寄付をされた方は上條講堂(新)座席へ芳名プレートを設置し、顕彰させていただきます。(申込状況は下図参照)
- [一 般] ホーチキ株式会社様
 [父 母] 渡辺 正貴様
 [同 窓] 内川整形外科医院 院長 内川 友義、リハビリテーション科 主任 川端 薫様(医学部・59回生、保健医療学部・4回生)
 小野 真理子様(医学部・43回生) / 鈴木 友子様(歯学部・14回生)
- [職 員] 磯飛 雄一様
 [備 考] ※申込順となっております。
 ※名前の公表を希望されない方については、掲載していません。
 ※申込時に同窓欄へ記載があった方につきましては、名前の後に学部と卒業回生を掲載しております(職員は除く)。
 医…医学部 歯…歯学部 薬…薬学部 保…保健医療学部 看…看護専門学校

上條記念館建設事業 新講堂 イス芳名プレート席数

既申込数 179席
対象席数 437席

平成30年8月31日時点



※黒塗り部分が既申込席となります。
 ※本事業への寄付が100万円以上の方が対象
 ※前方2列はプレート設置対象外です。
 (図)上條記念館内新講堂1階

こんなに便利な「昭友」の海外出張!

メールのやり取りだけで
あとは全部おまかせ!

飛行機の手配
ホテルの手配
公的研究費のお手続き
立て替え払い不要!



昭友商事株式会社 3784-8280

第65回昭和大学学士会総会のお知らせ

日 時 平成30年12月1日(土) 13:00~16:15
 場 所 昭和大学1号館7階講堂 6階・5階会議室

【教育講演】(14:50~16:05)

1. 「成熟期を迎えた冠動脈疾患治療における残余リスクの管理」
 昭和大学医学部内科学講座(循環器内科学部門) 新家 俊郎 教授
2. 「AIブームとコンピュータ支援診断(CAD) -現状と歯科領域での将来」
 昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座歯科放射線医学部門 荒木 和之 教授
3. 「天然医薬の可能性を探る」
 昭和大学薬学部臨床薬学講座天然医薬治療学部門 川添 和義 教授

◆問い合わせ先：昭和大学学士会・事務局 TEL:03-3784-8074